

本っておもしろい！早く読みたい！

◎本は友だち 本屋へ行くプロジェクト



12月・1月にかけて、町内各小学校で「本は友だち 本屋へ行くプロジェクト」が始動しました。

これまで学校側が児童に「読ませたい本」を提供してきましたが、このプロジェクトでは、児童が町内の本屋に出向き、自分で「読みたい本」を選定。これにより、読書に親しみにくかった児童も含め、読書への興味・関心がさらに高まることが期待されています。

明屋書店店見店に出向いた児童たちは、学校の図書室に並べたい絵本、図鑑や文庫本などを、友人と楽しそうに選んでいました。

南予の森林管理の拠点として…

◎南予森林管理推進センター設立



「森林経営管理法」および「森林環境税法」が施行されたことに伴い導入された、新たな森林管理制度の活用に向け、鬼北町、宇和島市、松野町、南予森林組合が協同して、12月20日に「南予森林管理推進センター」を設立しました。

同センターでは、「森づくり」「人づくり」の2つの柱を重点的に取り組み、市町や森林組合等との連絡調整や技術的支援を行うとともに、新たな人材の確保・育成や省力化につながる新たな技術の導入を進め、手入れ不足となった森林の健全化と、災害に強い森林づくりを推進します。

地域とともにある学校づくり

◎愛治小学校区地域学校協働本部が受賞

愛治小学校区地域学校協働本部が、令和元年度「地域学校協働活動」に係る文部科学大臣表彰を受賞しました。

「地域学校協働活動」とは、地域全体で次世代を担う子どもたちを育成するために、地域と学校が連携・協働し、地域の教育力の向上を図り、社会総がかりでの教育の実現を目指すことを目的に、幅広い地域住民等の参画により、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動のこと。

今回、愛治小学校区地域学校協働本部の活動が他の模範になると認められ、表彰されました。



▲芝地域コーディネーター

世界に1つだけの土鈴の完成！

◎土鈴づくり



1月6日、鬼北町放課後児童クラブで毎年恒例の土鈴づくりが行われました。

この日は、わかば作業所の職員らが講師として参加。児童たちは、職員らのアドバイスに耳を傾けながら、令和2年の干支である「子（ねずみ）」をかたどった白い土鈴に、絵の具を使って思い思いに色付けしたり、模様を描いたりし、オリジナルの土鈴を作っていました。